

令和元年度神経・筋難病看護研修実施要領（地域看護職対象）

1. 目的

- (1) 京都府内の在宅難病患者の療養を支援する機関に勤務する地域看護職等に対して、看護研修の場を広く提供し、神経・筋難病への専門的な知識を深めると共に難病看護の質的向上を図る。
- (2) 関連機関との情報交換を通して難病医療ネットワークの強化を図る。

2. 主催

京都府、独立行政法人国立病院機構宇多野病院

3. 対象

- (1) 京都府内の訪問看護ステーション・地域包括支援センターに勤務する看護職等
- (2) 近畿の府県及び政令指定都市の保健所等に勤務する保健師等

4. 期間

第1日目：令和元年11月14日（木）

第2日目：令和元年11月21日（木）

第3日目：令和元年11月28日（木）

第4日目：令和元年12月6日（金）

令和元年12月13日（金）

いずれか1日を選択

※第4日目は第1日目から第3日目までの全ての研修修了者のみ
実習申込み可能

5. 場所

独立行政法人国立病院機構宇多野病院 中央会議室
（京都市右京区鳴滝音戸山町8）

6. 内容

別添プログラム参照

7. 申込期間

令和元年7月8日（月）～7月18日（木）必着

8. 申込方法

申込書（別紙1）及び受講者調書（別紙2）を作成の上、「13提出先」までメール又は郵送にて送付願います。※1人のみの参加でも必ず両方作成願います。

提出する様式については、当院ホームページからもダウンロード可能です。

<http://utanohosp.jp/>（医療関係者の方へ／神経・筋難病看護研修）

※第4日目の実習については、希望の有無及び第1・第2希望日の記入をお願いします。実習は1日につき10名で予定しています。定員を超えたときには、調整させていただきますので、ご了承ください。

9. 受講決定

令和元年8月6日（火）までに施設あてに文書で通知します。

10. 必要物品・服装等

- ・筆記用具
- ・開講式がありますので、服装にご注意ください。
- ・最終日に施設見学を行います。ヒールのある靴は避け、音のしない靴をご準備ください。髪が長い方は、束ねていただきますようお願いいたします。
- ・受講決定後、研修参加費（資料代）として、第1日目から第3日目までは1日につき1,000円、第4日目（実習）は2,000円を宇多野病院が実費徴収します。振込後の返金及び欠席による返金は致しません。
なお、「神経・筋看護マニュアル」希望の方は、実習当日に3,000円にて販売致します。購入時に釣銭がないようご協力の程お願い致します。
- ・昼食はなるべくご持参ください。
※宇多野病院内にも売店があり、通常より多く用意しますが、患者・職員等の利用時間と重なり混雑が予測されます。なお食堂は休業中です。
- ・宿泊先は各自で予約してください。受講者用の駐車場は準備しておりませんので、ご了承ください。

11. 修了証書

第1日目から第4日目まで全ての研修修了者には、修了証書を発行します。

12. その他

本研修は、宇多野病院が政策医療（神経・筋難病）の基幹病院として、全国の国立病院機構を対象に実施する研修と同時実施となります。

研修企画及び通知・広報については、府及び宇多野病院で実施しており、その他研修運営については、宇多野病院に委託実施しております。

13. 提出先・問い合わせ先

〈提出先・手続きに関する問い合わせ〉

(1) 訪問看護ステーション・地域包括支援センター・行政機関に所属の方

〈提出先・手続きに関する問い合わせ〉

〒616-8255 京都市右京区鳴滝音戸山町8

独立行政法人国立病院機構宇多野病院 庶務班長 柴田 忠幸

TEL: 075-461-5125 (内線 7501) / Mail: shibata.tadayuki.hm@mail.hosp.go.jp

(2) 京都府保健所に所属の方

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入

京都府健康福祉部 健康対策課 疾病対策担当 横谷 健太

〈研修内容に関する問い合わせ先〉

独立行政法人国立病院機構宇多野病院 看護師長 近藤 昭子

TEL: 075-461-5125 (内線 7913) / Mail: kondo.akiko.rh@mail.hosp.go.jp

令和元年度 第21回神経・筋難病看護研修プログラム(地域看護職)

	1日目 11/14(木)	2日目 11/21(木)	3日目 11/28(木)	4日目 12/6(金)・13(金)のうち1日
9:00	開場・受付・資料配布 オリエンテーション (9:15～9:30) 開講式 (9:30～12:00)	(9:00～9:40) 宇多野病院における 在宅支援の取り組みと 現状訪問看護の取り組み 退院調整看護師 副看護師長 橋度 美紀子	(10:00～12:15)	(9:00～9:45) 難病患者の リハビリテーション セラピスト (9:45～10:00) オリエンテーション
10:00	難病看護総論 (パーキンソン病・ パーキンソン病関連疾患・ 多系統萎縮症・ 筋萎縮性側索硬化症) 副看護師長 野村浩子 佐竹美穂 市村ルミ	(9:50～11:00) 難病患者を取り巻く 行政施策 京都府健康福祉部 健康対策課 横谷 健太	「摂食・嚥下障害が ある患者の支援」 摂食・嚥下障害認定看護師 中嶋 渚 主任言語聴覚士 飯高 玄	(10:00～13:45)
11:00		休憩 10分		《病棟見学》 コミュニケーション・ 食事・移動・排泄等 看護の実際 リハビリテーション の実際 (休憩1時間)
12:00	(12:00～13:00) 昼食	(11:20～11:50) 京都府保健所の 難病患者支援 山城北保健所 植垣 紀子 (11:50～12:20) 京都市保健所の 難病患者支援 京都市保健福祉局 障害保健福祉推進室 今西 那奈	(12:15～13:15)	
		(12:20～13:20) 昼食	昼食	
13:00	(13:00～15:00) 難病疾患の理解のための 基礎知識 (パーキンソン病・ パーキンソン病関連疾患・ 多系統萎縮症等)	(13:20～15:00) 《グループワーク》 難病患者の医療と災害対応 在宅の連携について	(13:15～14:30) 神経・筋難病患者の リハビリテーション 社会資源の活用	(13:45～14:00) 病棟見学実習を終えて 質疑応答
14:00	臨床研究部長 大江田 知子		住まいと介護研究所 所長 谷口 昌宏	(14:00～14:30) 閉講式 (修了証書授与)
15:00	休憩 10分	休憩 10分	休憩 10分	/
	(15:10～16:10) 筋萎縮性側索硬化症 神経内科医 梅村 敦史	(15:10～16:00) 全体での討議	(14:40～16:45) 神経・筋難病患者の リハビリテーション 社会資源の活用	
16:00		休憩 10分	住まいと介護研究所 所長 谷口 昌宏	
16:45		(16:10～17:00) 難病患者の リスクマネジメント 医療安全管理係長 清水直		
17:00				